

# 水土里ネットだより

letter from akita

秋田県水土里ネット広報活動情報誌



## 目次

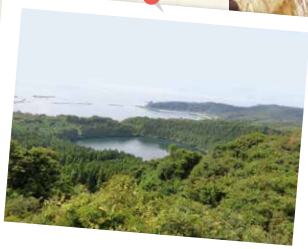
特集1	水土里キッズのわくわく探訪inおが	2
特集2	第142回秋田県種苗交換会協賛事業 NNフェア開催	6
特集3	2019語り部交流会inかづの	8
特集4	水土里の広報委員会	9
特集5	支部だよりの紹介	10
	令和元年度21世紀土地改良区創造運動活動報告集	12
	第20回美しく豊かな農村づくり写真コンクール入賞作品紹介	24

水土里の広報委員会



# 水土里キッズのわく

令和元年9月7日(土)男鹿市にて「水土里キッズのわくわく探訪」あった。今年で23回目を迎える本イベントは、小学校高学年を対象を深めてもらう目的で行っている。



## 水土里キッズのわくわく

探

訪

マ

- 国道
- 県道
- 男鹿なまはげライン



4 入道崎



2 温浴ランドおが 昼食・ゲーム大会



3 八望台 男鹿市土地改良区



5 なまはげ館 男鹿真山伝承館





# わく探訪 in おが



inおが」を開催。当日は、児童・保護者・スタッフ合わせ42名の参加が  
象に県内の農業水利施設や土地改良施設の機能・役割について理解



ツ プ

## スケジュール

秋田の食と農を学ぶグリーンツーリズム企画

### 水土里キッズの わくわく探訪 in おが

開催日：令和元年9月7日(土)  
開催場所：男鹿市

- 8:20 水土里ネット秋田 出発
- 9:50 ①滝の頭湧水 (開講式)
- 11:50 ②温浴ランドおが (昼食・ゲーム大会)
- 13:10 ③八望台 (見学)
- 14:00 ④入道崎 (見学)
- 14:50 ⑤なまはげ館・男鹿真山伝承館 (見学)
- 16:20 ⑥寒風山 (閉講式)
- 17:40 水土里ネット秋田 到着



#### ① 滝の頭湧水と円形分水工 (開講式)

男鹿市五里合土地改良区  
東山長十郎氏  
男鹿市水道局



男鹿市



#### ⑥ 寒風山 (閉講式)

当日の詳細内容は本会HPの  
ブログにて公開中です。  
アクセスしてみてくださいね♪







# 水土里キッズが

## 「秋田、男鹿のみりよく」

秋田市立寺内小学校 三年 <sup>いけだ</sup>池田 <sup>りゅうせい</sup>琉誠

ぼくは、「わくわく探訪in男鹿」に参加して、男鹿をたくさん勉強できました。

滝の頭湧水でお腹をこわした人もいなく、コーヒーやお茶を作るとおいしいと聞いて飲んでみたいと思いました。

滝の頭の水面は青く透き通っていて、とてもきれいだと思いました。

浄水場では、パンフレットにのっていた円形分水工を目の前で見ることができました。農業に必要な水を平等に分けること、円の周りに38カ所も穴があいていて、男鹿の様々な地域へ水が行き渡る事を知る事ができました。

八望台では、一ノ目淵、二ノ目淵が青々としてきれいでした。パンフレットを読んで見たら国の天然記念物に指定された事を知りすごくうれしかったです。

なまはげ伝承館では、なまはげ体験をした事がなかったので、どんなふうに分はなるのだろうと、少し不安だったけれど大きな音を立ててびっくりさせられたくらいで、頭をなでてもらって「いい子にしないよ。」と言われただけだったので、なまはげは優しくて良かったです。なまはげのわら一本一本に神様が宿っていると教えてもらいました。最後にわらを一本持ち帰る事ができて良かったです。

なまはげの顔はいっぱいあって赤や青がゆうめいですが、緑や金もあったのが印象的でした。

ぼくは、秋田に住んでいても知らない事がたくさんあって、まだまだ知らない秋田のみりよくがあるんだなと思いました。

水土里ネット秋田のみなさんにその一部を教えてもらえて良かったです。また機会があったら参加してみたいです。「ありがとうございました。」

## 「友達との出会い」

秋田市立日新小学校 六年 <sup>たなか</sup>田中 <sup>こうきち</sup>虹吉

今年は、男鹿市を探訪に行きました。去年は三種町でしたが、今回は、行く場所がちがっていたので少しおどろきを感じました。令和元年の水土里キッズは、とてもおもしろい事や、少し興味深い話など、たくさん聞けたので良かったです。

一番勉強になった事は、滝の頭湧水の事です。「滝の頭湧水」は男鹿半島を代表する名水だそうです。寒風山のふもとの総出量の7割、一日あたり約2万5千リットル、とてもたくさんの水が湧き出ており、雪どけ水や雨水が、火山である寒風山の地下にしみ込み、火山の中を流れて、その間にゴミや汚れが取りのぞかれ、その代わりに、ミネラルがふくまれる水にかわります。20年以上のとても長い年月を経て自然にろ過をしていきます。だから、そのまま人が飲めるような水となっている事を教わってきました。飲んだ水は、水道水とちがってとても冷たくて甘みがありました。

思い出になったのは、友達ができただけです。男鹿市内を探索している時に初めて会った人たちと少しずつ仲良くなっていく時間が楽しかったです。一緒に写真をとったり、なまはげ伝承館では、男子で、なまはげの衣装を着たりしました。もしかしたら、これから、会える機会がないかもしれないけど、ぼくにとっては将来の親友になるかもしれません。最後の別れの時に「また会えたら一緒に話して笑い会おう」と約束したので、覚えていたら九月七日に初めて出会った思い出話したいと思います。

### <参加者一覧>

秋田市立桜小学校	5年	熊谷 瑞央	秋田市立大住小学校	5年	船木 爽羽
秋田市立桜小学校	2年	熊谷 明莉	秋田市立寺内小学校	5年	池田 光希
秋田市立桜小学校	2年	高橋 優仁	秋田市立寺内小学校	3年	池田 琉誠
秋田市立日新小学校	6年	田中 虹吉	秋田市立広面小学校	5年	長谷川清花
秋田市立日新小学校	3年	佐々木 雅	秋田市立広面小学校	2年	伊藤 亜珠
秋田市立日新小学校	1年	佐々木咲寧	秋田市立御所野小学校	5年	高橋美沙輝
	年中	佐々木逸綺			



# らの感想文紹介



## 「わくわく探訪」で学んだこと

かしわや あんな  
秋田市立下新城小学校 五年 柏谷 杏奈

私がわくわく探訪で1番印象に残っているのは、最初に見学した滝の頭湧水と円形分水工です。1日あたりに約2万5千リッポーマートル(学校のプール50~60杯分)の水が湧き出ていると分かりました。水温は、常に12~13度で実際にさわってみたら、とてもつめたくて、びっくりしました。円形分水工は、農業に必要な水を平等に分けるために使われる、し設で円形分水工のまわりには、38カ所もの穴があいていました。どうしてこんなに穴があいているのだろうと初め見たとき思いましたが、説明を聞いて分かりました。水土里ネットのスタッフの方が、この湧水を水筒に入れておみやげに持たせてくれました。寒風山の地下にしみ込み20年以上の時間をかけて、自然にろ過され、ようやく湧き出した水だと思うと、とても不思議な気持ちで飲みました。とてもおいしかったです。他に、男鹿梨もいただきました。家に帰ってから食べたら、とてもみずみずしくて、あまみもあり、とてもおいしかったです。

次の見学場所、八望台からは、一ノ目淵、二ノ目淵が見えました。火山のばく発によってできた湖で6~8万年前に出来たそうですが、こんなところに湖があるなんて知らなかったの、おどろきました。

今回のわくわく探訪では、水土里ネットの役割を学ぶことができ、とてもよい経験になりました。

スタッフのみなさんありがとうございました。また来年も参加したいです。

## 「たのしかった思い出」

さいとう ひろや  
男鹿市立船越小学校 六年 齊藤 尋哉

ぼくは、九月七日に「水土里キッズのわくわく探訪inおが」のイベントに弟と参加しました。最初にバスで向かったのは、滝の頭に行きました。ぼくはそこで、わき水や、ため池を見ました。わき水は、くんで飲めると言うことでのんで見ました。とても美味しかったです。ため池の高さは7メートルから8メートルあることがわかりました。

二つ目は円形分水工に歩いて向かいました。そこでは水を男鹿の地域にそれぞれ分配されることがわかりました。滝の頭では、虹吉くんと友達になりました。昼食を食べに行くバスの中では、雅くんと慶丞くんと友達になりました。昼食を食べる所に到着し昼食を食べました。食べ終わったらゲームをしました。一つ目のゲームはカーリングです。ぼくはそのゲームで勝ちました。二つ目のゲームはカップを使ったゲームです。ぼくはそのゲームでも勝つことができました。うれしかったです。

一ノ目淵を見にいきました。とてもきれいだったのでまた見たいです。

次におみやげを買いに行きました。僕はおみやげを四つ買いました。

次に寒風山に行きました。そこでは、記念写真をとったりしました。そして朝に集合した場所にもどり家に帰りました。おもしろかったの、次も行けたら行こうと思いました。

※「令和元年度わくわく探訪 in おが」感想文集より、代表者4名の感想文を載せています。

秋田市立下新城小学校 5年 佐々木 瑠海  
秋田市立下新城小学校 4年 佐々木 千紘  
秋田市立下新城小学校 5年 柏谷 杏奈  
秋田市立下新城小学校 6年 神馬 毬那  
秋田市立下新城小学校 2年 神馬 璃久  
秋田市立下新城小学校 6年 佐藤 佑月  
秋田市立下新城小学校 1年 佐藤 杏南

秋田市立下新城小学校 6年 佐藤 志咲  
秋田市立下新城小学校 3年 佐藤 咲幸  
秋田市立下新城小学校 2年 今野 紅愛  
秋田市立河辺小学校 3年 高橋 慶丞  
秋田市立飯島小学校 6年 松田 喜愛  
男鹿市立船越小学校 6年 齊藤 尋哉  
男鹿市立船越小学校 2年 齊藤 輝空



# 第142回秋田県種苗交換会



## フェアの目的は？

普段農業に関わる機会の少ない一般の方々へ向けて秋田の農業農村整備事業の果たす役割について理解を深めてもらうために開催している。

## NNフェアとは？

「農業農村整備フェア」の通称。このフェアは、本県で毎年開催される「秋田県種苗交換会」の協賛事業として参考展示を行うものである。

## フェアへの出展団体は？

1. 水土里ネット秋田
2. 秋田県
3. 東北農政局(西奥羽土地改良調査管理事務所、平鹿平野農業水利事業所、旭川農業水利事業所、田沢二期農業水利事業所)
4. NPO法人秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会



## ■今年度は約2,300名が来場！

今年は10月30日(水)～11月5日(火)通算で約2,300名が来場し、今回は大館市「タクミアリーナ(大館市樹海体育館)」での出展となった。

来場者は大人から子どもまで展示パネルや各種模型へ興味を寄せており、スタッフの説明に熱心に聞き入っていた。また、秋田県だけでなく、全国各地から沢山の来場があった。

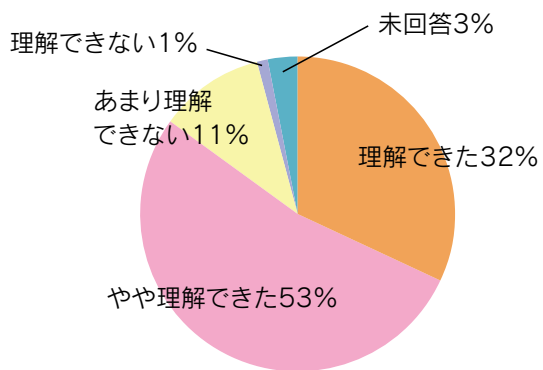


# 協賛事業 NNフェア開催

ここが  
見所!

## NNフェアチェックポイント

農業農村整備事業への理解度のアンケート結果



来場者へのアンケート結果について、80%以上の方から農業農村整備について理解を得る事が出来ました。今後も幅広い年代の方々に理解して頂けるような展示内容を心掛けていきます。



液晶モニター



地下かんがいシステム



カレンダー作成



来場者の様子





# 2019語り部交流会inかつの

令和元年11月29日(金)鹿角市文化の杜交流館コモッセにて「2019語り部交流会 in かつの」が開催された。この「語り部交流会」は、農業・農村に関わる歴史や文化などを様々な視点からとらえ、語り伝えることで、先人の思いや昔から受け継がれてきた農村に宿る精神(こころ)を再確認し、これを地域活力の向上や地域振興につなげようとするもので、平成23年度的美郷町を皮切りに全県各地で開催され、今年度で9回目を迎える。鹿角地域は、栄華な鉱山の歴史、鉱山の技術を活かしたエコでグリーンな産業の推進を始め、十和田八幡平国立公園を核としたツーリズムの推進に強く力を入れている。この交流会を通し、改めて「ふるさと」を後世に語り継ぐ事の大切さを知る良い機会となった。



## プログラム

### 開催あいさつ

主催者代表 秋田県土地改良事業団体連合会鹿角支部長 田口 信一

### 基調講演 「縄文のふるさと in かつの」

ふるさと水と土指導員/あきた森づくり活動サポートセンター総括所長 菅原 徳蔵氏

地域活動報告「郷土愛を育み、ふるさとの未来を拓く学校教育」

鹿角市立花輪小学校元校長

鹿角市立花輪第一中学校初任者研修統括指導教員 阿部 義弘氏

地域活動報告「水土里の大切さを次代へ伝え続ける土地改良区

～小学校での出前授業から～

かつの土地改良区(水土里ネットかつの) 根本 由紀子氏

地域活動報告「田舎暮らしの魅力発信

～地域資源の創造から地域内外のつながり構築へ～

NPO法人 かつの classy 代表理事 木村 芳兼氏

地域活動報告「伝説の里「かつの」の民話を語り継ぐ

～皮投岳物語(かわなげだけものごたり)～

鹿角民話の会 どっとはらえ 語り部 佐藤 友信氏

### 語りフォーラム「水土里豊かな「ふるさと」を次代へつなぐ」

コーディネーター: 福岡 真理子氏

(一般社団法人 あきた地球環境会議 理事・事務局長)

パネラー: 根本 由紀子氏/木村 芳兼氏/佐藤 友信氏

オブザーバー: 阿部 義弘氏

### 閉会あいさつ

秋田県鹿角地域振興局農林部長 進藤 隆



当日の詳細内容は本会HPのブログにて公開中です。アクセスしてみてくださいね♪



# 水土里の広報委員会



## 活動

「農地と水路を未来へつなげる水土里ネット」の標語のもと、土地改良区・土地連共通の広報活動を展開するための検討、提案を行う。

## 目的

農業農村整備事業に対する秋田県民の理解を得る

## 委員

水土里ネット秋田各支部に所属する土地改良区職員、水土里ネット秋田職員、オブザーバーとして秋田県農林水産部の職員2名

### ～水土里の広報委員会これまでの活動～

平成29年5月26日

平成29年度第1回水土里の広報委員会

- 広報委員会スタート
- 委員同士の交流
- 支部だよりの運営について

平成29年6月～

本会ホームページにて「支部だより」更新スタート

平成29年9月16日

- 水土里キッズのわくわく探訪inよこて 広報委員スタッフ参加

平成30年3月9日

平成29年度第2回水土里の広報委員会

- 支部だよりについて
- わくわく探訪についての企画提案、検討

平成30年6月8日

平成30年第1回水土里の広報委員会

- NNフェアについての企画提案、検討
- 水土里ネットだよりについて意見交換
- 21世紀土地改良区創造運動について意見交換

平成30年7月14日

- 水土里キッズのわくわく探訪inみたね 広報委員スタッフ参加

平成30年10月10日

平成30年度第2回水土里の広報委員会

- 「水土里ネットだよりVol. 3」編集会議
- 支部だよりの運営、編集方法について

平成30年10月30日～11月5日

第141回秋田県種苗交換会協賛行事NNフェア 広報委員スタッフ参加

平成31年3月5日

平成30年度第3回水土里の広報委員会  
● 「水土里ネットだよりVol. 3」編集会議

令和元年6月18日

令和元年度第1回水土里の広報委員会  
● 水土里ネットだよりVol. 3について  
● 会報誌について

令和元年9月7日

- 水土里キッズのわくわく探訪inおが

令和元年10月30日～11月5日

第142回秋田県種苗交換会協賛行事NNフェア 広報委員スタッフ参加

令和元年10月25日

令和元年度第2回水土里の広報委員会  
● 水土里ネットだよりVol. 4について  
● 改良区発刊会報誌について

令和2年2月26日

令和元年度第3回水土里の広報委員会  
● 水土里ネットだよりVol. 4について  
● 各管内の改良区発刊会報誌について



平成29年度から始まった「水土里の広報委員会」は今年度で一度休止となりますが、本会ブログ及び、令和元年度3月号の会報誌「あきたのどちがいりょう」(509号)の中で、これまでの経緯や、成果等詳しく紹介しております。是非ともアクセスしてみてください!



本会ブログ



会報誌3月号



# 支部だよりの紹介

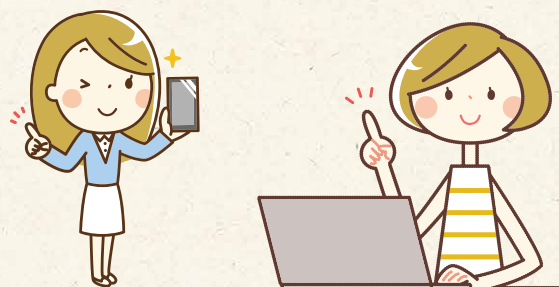
## 支部だよりととは…？

水土里の広報委員が各支部の行事や業務内容、季節の風景などを本会ホームページ内のブログから発信していく活動です。これまで、県内各支部の改良区の行事、施設紹介などを更新しており、災害時には写真を掲載し、会員から一般の方まで幅広い層へ向けて様々な情報発信としての役割を担っております。

## ●アクセス方法について



本会ホームページのトップページよりアクセス可能です！





# ピックアップ支部だより

## 研修・行事

【仙北支部】 4月8日

職員会の第48回通常総会が開催されました



【平鹿支部】 5月31日

ゴミゼロ運動が実施されました



【秋田支部】 7月30日

現地視察研修



## 現状報告・施設紹介

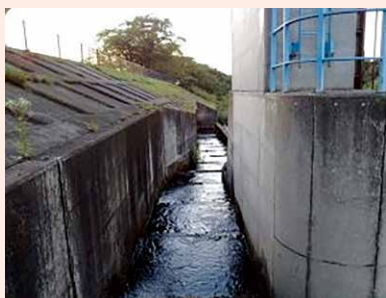
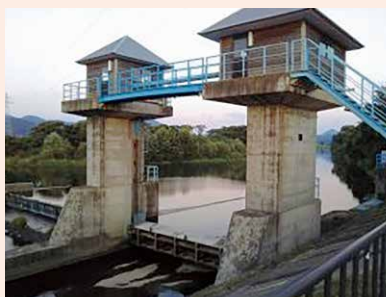
【山本支部】 6月12日

水不足です



【鹿角・大館・北秋田支部】 9月17日

三浦堰頭首工の紹介



QRコードを読み取ると「支部だより」へアクセスできます！



# 令和元年度21世紀土地改良区創造運動



## 令和元年度 秋田県21創造運動県知事賞 琴丘土地改良区

### 21世紀創造運動とは？

水土里ネットの役割や農業農村の多面的な機能を全国へ発信するために水土里ネットが地域の人たちと協力し、取り組む運動です。平成13年度から始まり、全国各地で多様な取り組みが展開されており、「水土里ネット」の呼称の普及にも貢献しています。活動の継続により、地域社会との絆が深まり、水土里ネット関係者の意欲と意識改革へもつながり、本県においても県民へ水土里ネットの活動をPRする広報活動となっております。

### 【21創造運動の取り組み】



### 知事賞 琴丘土地改良区(水土里ネット琴丘)

#### 〇21創造運動の継続により地域づくりを推進

本土改良区では、従来から「国営造成施設管理体制整備促進事業」を活用し、施設研修や見学会を通して土地改良施設の多面的機能や土地改良区が担っている役割等をPRしていたが、特に非農家の方々の理解や関心がなかなか進まないと感じていた。

こうした背景を踏まえ、農業・農村が持つ多面的機能の維持・発揮のために土地改良区が担っている役割を広く地域住民に理解してもらうとともに、重要な地域資源を次世代に引き継いでいける地域づくりを推進することが土地改良区の責務であるとの強い思いから、それらの実現に向け21世紀土地改良区創造運動に取り組むこととした。

具体的な活動内容としては、地元の琴丘小学校5年生児童を対象にした「農業水利施設の見学会」を毎年開催し、今年で14年目となった。見学会では、土地改良区職員が「田んぼの水の話」と題して、土地改良区の仕事と地域との関わりを説明し、その後、ため池や揚水機場、排水機場等を見学してもらい、それぞれの施設の機能や役割を説明している。参加した児童や引率の先生には大変好評で、今後も継続して行きたいと考えている。

また、八郎湖東部承水路周辺の草刈りや清掃活動、三種町歩こう会等、地域住民との活動を通じた交流も行われている。

こうした取り組みは、土地改良施設の多面的機能及びそれを管理・維持している土地改良区の役割の理解醸成に大きな効果を発揮している。

土地改良区が先頭に立ち、農業水利施設見学会や清掃活動等を実施し、地域資源の重要性を訴え続けていることにより、地域内からは、「施設・水管理はこんなに大変なのか」、「土地改良区は地域に必要だ」などの声が聞こえてくるなど、非農家を含めた地域住民の方々に、土地改良区の担っている役割について理解してもらえるなどの成果が現れている。



## 秋田県21世紀土地改良区創造運動表彰

支部名	受賞団体名	受賞区分
山本	琴丘土地改良区	知事賞
北秋田	北秋田市土地改良区	奨励賞
山本	三種町浜口土地改良区	奨励賞





# 21世紀土地改良区創造運動

## 活動報告集



今年度も県内各水土里ネットにて21創造運動が行われました。

県内水土里ネットでは、地域の特色を生かした活動を通し、地域農業の振興、地域コミュニティの強化・再生、地域資源の管理を行い、水土里ネットの価値を浸透させます！

各地域で行われた活動を是非ご覧ください♪

### 令和元年度 活動状況

No.	改良区・関係団体名	活動・イベント内容	ページ
特集	琴丘土地改良区	農業施設見学会	14
1	水土里ネット秋田鹿角支部	農業体験活動	14
2	大館市土地改良区	児童による農業体験学習	15
3	水土里ネット北秋田	小学生「農業体験学習」	15
4	秋田県能代地区土地改良区	水土里の実践活動	16
5	水土里ネットみたね	農穢の里ウォーキング兼施設見学	16
6	水土里ネット浜口	水生生物調査及び土地改良施設見学会	17
7	新城川土地改良区	小泉漏クリーンアップ	17
8	井川町土地改良区	学習田農業体験活動	18
9	水土里ネット飯田川	学習田農業体験活動	18
10	水土里ネット天王	生活に密着した水路の清掃	19
11	水土里ネット仙北平野	地域文化講座「ふる里再発見」	19
12	水土里ネット仙北平野	水土里ネット森林学習	20
13	水土里ネット仙北平野	水生生物の自然観察会	20
14	由利本荘土地改良区	農業体験学習(米づくり体験学習)	21
15	水土里ネット子吉	ふるさと環境教室	21
16	秋田県南旭川水系土地改良区	学校農園から学ぶこと	22
17	水土里ネット山田五ヶ村	地域住民一体となった維持管理コンテスト	22
18	水土里ネット稲川	どろんこ学校	23
19	羽後町土地改良区	水土里と森のふれあい学校	23





農業施設見学会



内容

琴丘小学校5年生に課外授業の一環として、ため池・揚水機場・排水機場を見学してもらい、農業用水と土地改良区の役割について理解を深めてもらった。

期間

6月10日

場所

山本郡三種町鹿渡地内

★アピール・ポイント

この活動を通じて、地域の農業用排水施設や土地改良区の役割について、知ってもらえることができた。

★感想

施設見学会に参加した子供たちは、初めて見る施設に大変興味を示し、家庭に戻ってこのことを話してくれたと思う。

地域には色々な農業施設があり、それを守っている組織があるということを知ってもらうため、今後もこの活動を継続していきたい。

水土里ネット秋田鹿角支部

農業体験活動

内容

八幡平小学校、末広小学校の体験学習で実施している「田植え・稲刈り」に参加。

- ・地域の農業施設について出前授業
- ・田植え・稲刈り体験学習

期間

5月29日～10月4日

場所

八幡平小学校教室、小学校学習田

★アピール・ポイント

田植え前日、各小学校学習田周辺の施設の概要、取水した水の田んぼまでの経路、水の大切さ、水土里ネットの役割を説明した。

手植え作業での田植えが初めての子供も多く、泥だらけになりながらも一生懸命に田植えを行っていた。

体験学習で田植えをした学習田では、10月3日に稲刈りが行われた。慣れない手つきで稲刈り鎌を持ち、最後は「はさ掛」まで行い楽しい秋の1日となった。

★感想

出前授業では、普段見慣れているものが農業用の施設である事を知ってもらえる活動となった。

田植えと稲刈りについては、児童同士での協力、お家の方や地域農家の方の協力によりスムーズに作業が出来た。

今後も、地域を担う子供達に向け農業農村の役割について理解を深めてもらえるような活動を継続していきたい。





## 児童による農業体験学習



### 内容

川口小学生(3年)によるネギ植え・収穫体験

### 期間

6月20日・10月10日

### 場所

大館市立花字立花 地内

### ★アピール・ポイント

体験学習を通じてネギへの関心が深まり、農業の楽しさや人々との関わりを感じることができた。

### ★感想

農事組合法人立花ファーム、立花農地保全隊の協力のもと、今年で16年目となる毎年恒例の農業体験学習が、川口小学校3年の児童、先生及び関係者21名の参加のもと行われた。春のネギ植えでは、児童からネギの種類や育て方、病気への対処など活発な質問が出され、農業への関心の高さが伺えた。また、収穫体験では立花ファームで管理されたネギの太さと収穫の喜びを実感しながら、家へのお土産として一生懸命ネギの袋詰めをしていたのが印象的だった。指導に当たった関係者からは来年も新3年生によるネギ植え体験を心待ちにしているとの声が聞かれた。



# 水土里ネット北秋田

## 小学生「農業体験学習」

### 内容

綴子小学校5年生による農業体験と地域住民交流会の実施

### 期間

5月23日(代かき)～11月9日(地域住民交流会)

### 場所

綴子農村公園(農業体験田)他

### ★アピール・ポイント

農業体験を通じて農業への理解を深め、農村地域の大切さを感じることができた。

### ★感想

毎年「北秋田市綴子地区農地・水・環境保全組織」と連携し、綴子農村公園隣の農業体験田において、綴子小学校5年生が代かき、田植え、生育調査、稲刈りを体験し、米作りの一連の流れを学習した。また、その体験をもとに地域住民交流会において「農業体験発表」を行い、地域の皆さんに学習の成果を披露した。

農業体験では農作業の大変さやお米の大切さを学び、交流会では収穫した米をきりたんぼにして試食するなど、子供からお年寄りまで地域一体となって楽しみながら学習に取り組んでいる。





## 水土里の実践活動



### 内容

農業水利施設への花の植栽、農業水利施設の視察研修、幹線排水路の環境整備、小学校児童の農業水利施設の見学

### 期間

6月26日、7月11日、10月25日、11月13日

### 場所

素波里頭首工、大野分水工、落合幹線排水路 等

### ★アピール・ポイント

幼稚園児、小学生、大学生、地元自治会といった、幅広い世代、多くの団体から参加いただく事ができた。

### ★感想

毎年実施している活動をベースに、前年よりも若干趣向を変えた活動もあった。

植栽活動については会場を変更し、新たに花壇を造成するところから取り組みをした。

また、前年まで小学生を対象に出前授業を実施していたが、今年度は素波里頭首工や大野分水工など、実際に施設へ案内し、土地改良区や多面的機能について紹介し、この活動は地元の新聞にも取り上げられた。

その他、大学生の施設研修や幹線排水路の環境整備についても積極的に参加して頂き、より一層農業水利施設の多面的機能や土地改良区について伝える事ができた。



## 水土里ネットみたね

### 農穡の里ウォーキング兼施設見学

#### 内容

ウォーキングと施設見学 ※当日雨天のため、屋内で軽運動

#### 期間

10月19日

#### 場所

第九排水機場周辺 ※当日雨天のため、町内の体育館

### ★アピール・ポイント

屋内での開催のため、排水機場の説明をするために大きなパネルを用意した。

### ★感想

今年も69名の参加があったが、事前の雨予報により、初めから当日は屋内で運動できるよう準備をした。運動は年齢関係なく気軽楽しめるユニカールにし、レーンの設置や得点の決め方など、慣れていない分、戸惑うこともあった。晴天時は田んぼ・水路・農道を観察しながら機場までウォーキングしてもらおうが、今年はパネルを用意して説明する事で、参加者が熱心に説明を聞いて下さるのが印象的だった。例年、この活動でより多くの方に排水機場の役割を理解して頂いており、今後も継続していく事に重要性を感じた。





## 水生生物調査及び土地改良施設見学会



### 内容

浜口小学校4年生児童13名の環境教育とタイアップして土地改良施設(揚水機場)見学会、また用排水路内の水生生物調査も実施した。

### 期間

6月21日

### 場所

三種町浜田地内の用水路、揚水機場

### ★アピール・ポイント

浜口地域内の水田水路に生息する「生き物(水生生物)と環境」をテーマに、生き物の採取と観察を行い、環境と生き物について関心を高めてもらう。

土地改良施設については実際にポンプを運転し水の流れや仕組み、管理する人々について学習してもらう。

### ★感想

生き物の採取については積極的で、生き物の多さに驚いていた。

また、ポンプの稼働による用水路への放流を見学し、水の大切さと水管理を維持している人々の努力を感じとった貴重な施設見学会になった。



# 新城川土地改良区

## 小泉瀉クリーンアップ

### 内容

新城川土地改良区管内の小・中・高生及び地域住民一体となったクリーンアップ活動。

### 期間

6月23日

### 場所

秋田市金足小泉瀉公園

### ★アピール・ポイント

組合員や地域住民だけでなく、管内の学校に通う小・中・高生を巻き込んだ活動。

### ★感想

昨年、一昨年と熊の出没により中止となっていて、今年で6回目となった『小泉瀉クリーンアップ』が6月23日午前6時より関係者120名、学校生徒100名、合計220名の参加を頂き開催した。今年は、男瀉、女瀉、公園の3ヶ所に分かれてクリーンアップ活動を行い、少しずつではあるが、年々活動が浸透し、ゴミの量も減少傾向である。『継続は力なり』クリーンアップを通して、土地改良区への理解や農業用施設の大切さ、地域との連帯感を伝える事ができ、盛会裡に終了する事が出来た。今後も続けて行きたい。





## 井川町土地改良区

田中 和彦

### 学習田農業体験活動



#### 内容

井川義務教育学校5年生による「田植え・稲刈り」体験

#### 期間

5月22日(田植え) 10月1日(稲刈り)

#### 場所

井川義務教育学校学習田

#### ★アピール・ポイント

農作業の大変さを体験すると共に、自然と触れ合う楽しさ、収穫による喜びをかみしめる活動になった。

#### ★感想

今年も農業委員の方々の指導により「田植え・稲刈り」が行われた。春の田植えでは、児童たちが横一列に並び、昔ながらの型枠で付けた線を目印に一つずつ慎重に苗を植えた。初めは泥に足をとられていた児童たちも次第に慣れ、丁寧に植えられた苗の列が徐々に完成した。秋の稲刈りでは、慣れない手つきで鎌を使い稲を一生懸命刈り取っていた。稲刈り作業後、刈り取った稲の束をコンバインまで運び脱穀までの作業を体験した。この活動からお米作りの大変さや収穫の喜びを体験すると共に、水や土に触れる事で自然と触れ合う楽しさを学んでもらえたと思う。



## 水土里ネット飯田川

川上 丈樹

### 学習田農業体験活動

#### 内容

飯田川小学校による農作業体験、収穫感謝祭

#### 期間

5月15日(田植え)、9月30日(稲刈り)、11月22日(収穫感謝祭)

#### 場所

飯田川小学校学習田、食堂

#### ★アピール・ポイント

子供たちと地域の触れ合い、収穫の喜びと農業の大切さ

#### ★感想

飯田川小学校5年生による農作業体験に、老人クラブ・J Aあきた湖東と一緒に参加した。稲刈り時には、子供たちが一人ずつバケツで栽培した稲を、昔の農機具等を使いながら精米まで行い、おにぎりにして食べた。

収穫感謝祭では、各学年での農作業体験等を発表し、感謝状を頂いた。昼食には、婦人会と子供たちで作った「だまご鍋」を全校生徒と一緒にご馳走になった。子供たちは、農作業の難しさや収穫の喜びを感じる事で、農業の大切さが伝わったと思う。





## 生活に密着した水路の清掃



### 内容

年一回の集落総出のクリーンアップ

### 期間

6月2日

### 場所

潟上市天王字塩口に隣接する承水路

### ★アピール・ポイント

集落に隣接する小さい頃から親しんだ「赤水」水路

### ★感想

昔から「せせらぎ水路」とはほど遠い「赤水っこ」と言われてきた水路で、高い鉄分土壌のため染み出した成分が酸性化して水が赤く濁っている。昔は生活水としても使われていたが白い衣服を洗濯すれば赤く染るけれども気にしない時代だった。そのため浄化水道がいち早く設備されたので、近年は必要性が薄れゴミの放置、ポイ捨てが増えていたが集落が一丸となり、コミュニケーションを取りつつクリーンアップを行う事で昔のエピソードを思いだしながら美化を推進する。平成17年度より13年間活動してきたので定着してきた。

## 地域文化講座「ふる里再発見」

### 内容

地域用水の水源をはじめ、用排水を調整する水利施設、除塵機、またそれらを一元管理する用水管理センターについて研修。

参加者：大仙市健康文化活動拠点センター ペアール大仙主催講座参加者

### 期間

8月2日

### 場所

秋田県仙北平野土地改良区  
用水管理センター・玉川頭首工

### ★アピール・ポイント

仙北平野の組織体制や管理システムについて、農業用水の配水だけではなく洪水時には防災の一翼を担っている事等を、地元の非農家の方々へ啓発することができた。

### ★感想

今回の参加者は非農家で、田んぼの水もどこから流れて来るのかわからない方がほとんどだった。

しかし、普段何気なく見ている用水路の水も、IoT技術で遠隔監視・遠隔操作され、1号幹線だけで最大取水量毎秒約24トンもの水量が用水管理センターで制御されていると知り、驚いた様子だった。

仙北平野は食料(お米)に直結する水管理を行っており、またゲリラ豪雨等に対する災害防止にも取り組んでいるので、今回の研修を受けた事により、いつもの田園風景がまた違ったものに見えるのではないかと思う。





## 水土里ネット仙北平野

久米 健太

### 水土里ネット森林学習会



#### 内容

「森林のはたらき」をテーマに地域の水源である保安林の働きと水の関わりについて学習。

参加者：美郷町内の小学児童4年生、地域住民

#### 期間

6月26日

#### 場所

美郷町住民活動センター、七滝保安林

#### ★アピール・ポイント

植樹の理念を訴え、植樹の意味の理解を深めてもらう機会となっている。

#### ★感想

森林の多面的機能及び水の生成方法について学ぶ機会となった。児童らは針葉樹とは違った広葉樹のブナ林特有の土壌による保水力に興味を持った様子だった。そして、森林が生成した水は川に流れ出て、土地改良区が管理する水利施設で各地域へ分水され、農業や生活用水に使われている事の理解が深まったと思う。



## 水土里ネット仙北平野

久米 健太

### 水生生物の自然観察会

#### 内容

清流で子供たちの力を借り、水生生物調査及び水質調査を実施。

参加者：大仙市立藤木小学校5・6年生

#### 期間

7月3日

#### 場所

丸子川支流湯田沢川上流

#### ★アピール・ポイント

児童らは事前に学校周辺の小川で調査を実施しているが、生息している生物と水質の違いを比較出来る機会となっている。

#### ★感想

調査地点上流の砂防ダムには外来魚が生息しており、下流の生態系への影響が懸念されている。そこで、子供たちと協力して、毎年調査を実施している。捕獲体験では、水質階級Ⅰ～Ⅱに該当する生物が多数発見出来た事は大きな成果だと思う。また、PH測定結果は中性となり水質も良好である事が分かったので、今回の学習が上級生から下級生へと伝わり、更には食卓で家族と話題になれば多くの人に理解浸透されると思う。





## 由利本荘市土地改良区 西目環境保全活動の会

三浦 昭夫

### 農業体験学習(米づくり体験学習)



#### 内容

小学校5年生が主体となって播種、田植え、稲の生育観察、稲刈り、自然乾燥の各工程の実体験を通して学習活動をし、毎年行われる種苗交換会に活動成果を出展し賞を得ている。関連した学習として魚類の調査、親水公園の清掃も行っている。

#### 期間

4月17日～9月30日

#### 場所

西目地域一円

#### ★アピール・ポイント

体験学習により主食である米の大切さ、農業用水の節水の仕方、河川の汚濁防止等環境保全の大切さを学習の柱としている。

#### ★感想

生涯で一度の体験となる子供も多数いると思われるので、地域住民の力を借りながら学習してもらっており大変実のある活動と思う。

又、収穫した米は消費拡大と学校給食に使用し喜ばれている。

## 水土里ネット子吉 ふるさと環境教室

天野 貫太郎

#### 内容

子吉の水源・ふるさとの自然環境を学習

#### 期間

5月30日

#### 場所

水道用ため池・農業用ため池・農業用水利施設等

#### ★アピール・ポイント

ため池が地域の農業、生活を支える重要な施設である事を子供達に知ってもらう。

#### ★感想

子吉小学校5年生を対象に授業の一環として平成22年度から活動しており、毎年同じルートで施設を廻っている。積極的に質問や意見を述べ、興味津々と農業用施設を見学する児童達を見て、少しでも農業や土地改良区に興味を持ってもらえたらと思う。





## 学校農園から学ぶこと



### 内容

横手市立北小学校の協力のもと、通学路危険箇所水路付近等への赤旗の設置及び学校農園への野菜等の植付

期間 5月～10月

場所 横手市立北小学校、土地改良区管内

### ★アピール・ポイント

学区内の通学路に隣接する用排水路等の危険箇所へ赤旗(400枚)の設置や、学校農園に学年毎に種類の異なった野菜や花きの植栽を行い地域に根差した土地改良区の活動に取り組んだ。

### ★感想

昨年度に引き続き、横手市立北小学校の協力のもと活動を行った。

今年は、PTAから協力を得て、学区内の通学路に隣接する土地改良区管理の用排水路等へ赤旗の設置を行い、水路への転落防止を未然に防ぐ事や、地域の危険箇所の再確認と周知をする事が出来た。又、児童による学校農園への野菜や花きの植栽・成長を観察することによって、地域農業への興味や感心を持ってもらえた。

農村地域だからこそ出来る、体験や経験の場をこの活動を通して児童に提供していけるよう、これからも継続して行いたい。来年度からは、活動の場所が変わるため新しいアイデアを取り入れながら横手市内の小学校へ活動を広げて行きたい。

# 水土里ネット山田五ヶ村

## 地域住民一体となった維持管理コンテスト

### 内容

維持管理実施状況の巡回コンテストを実施

期間 9月9日

場所 水土里ネット山田五ヶ村管内 ～ ニュー千寿苑

### ★アピール・ポイント

水土里ネット山田五ヶ村管内の多面的機能支払交付金活動組織(広域協定の20の活動組織)が実施している農地維持活動、資源向上活動の取り組みについて、毎年度実施している維持管理コンテストと共催で実施している。

### ★感想

各活動組織の代表が各地区の実施状況を巡回し、項目別に採点しながら実施内容の説明を行った。各活動組織において、それぞれ工夫した取り組みが見られ、活動組織間の連帯意識の高揚や情報交換の場としてなくてはならないものとなっている。

また、農業用水利施設の重要性や維持管理活動のPRIにも努めながら、多面的機能支払交付金制度を通じて大きな効果が生まれつつある、地域住民との交流活動(農家・非農家を巻き込んだ集落環境、生活水の確保等)、更新期を迎える土地改良施設の更なる長寿命化対策等の啓蒙にも努めている。

この維持管理コンテストは本年度で33回を数え、水土里ネット山田五ヶ村の21世紀土地改良区創造運動の中核を担う活動となっており、今後とも創意工夫に努めながら、水土里ネットの大切な役割を地域住民に伝える取り組みを行っていききたい。





## どろんこ学校



### 内容

小学校への出前授業(施設見学など)や管内小中学生を対象としたごみ捨て防止標語コンクールの開催、縄ない・雪中田植えなど昔ながらの行事体験

### 期間

5月22日～令和2年2月7日

### 場所

稲川土地改良区管内

### ★アピール・ポイント

ごみ捨て防止標語コンクール、優秀作品を立て看板にするなど児童・生徒はもとより保護者や地元住民へ農業用水の大切さや土地改良区の役割を理解していただく。

### ★感想

出前授業で、職員が土地改良区の役割・説明や施設見学の学習会を開催する事により、年々土地改良区の認知度が高まっている。

さらにごみ捨て防止標語コンクールは第16回を数え、今年度は小中学校合わせて369点の応募総数となった。優秀作品9点の立て看板を作成し管内各地区に掲示する事で環境保全や農業用水の大切さを地元住民に再確認して頂いた。

また、多面的機能支払交付金活動組織との連携の中で、小学生が田植えや稲刈り、昔ながらの縄ないや雪中田植えなどを体験することにより、農業への関心を高める事へつながったと感じている。



# 羽後町土地改良区

## 水土里と森のふれあい学校

### 内容

小学5年生を対象とした自然観察会

### 期間

6月27日

### 場所

アルカディア公園(足田ため池)

### ★アピール・ポイント

参加者を4つの班に分け、班毎に自然観察指導員が付いて観察会を行っている。改良区の職員も写真を撮りながら巡回し、参加者の安全に配慮している。

### ★感想

町の公園「アルカディア公園」とその中にある農業用ため池「足田ため池」で自然観察会を行う事で、自然に親しむ機会を設けると共に、土地改良事業の一端に触れ、またため池に近づく時は安全に気をつける様に呼びかけるなど、一日の観察会の中で多くの目的を持って活動している。





第20回

主催：水土里ネット秋田

共催：秋田県

# 美しく豊かな農村づくり写真コンクール



ベストあきた賞

「継がれる道」 佐藤 成公

【撮影場所】 秋田県秋田市雄和

日本 NN 賞

「七夕の日」 佐伯 範夫

【撮影場所】 島根県大東



秋田県農林水産部長賞

「心のふる里」 佐藤 あい子

【撮影場所】 秋田県にかほ市象潟横岡





## ナイスアグリカルチャー賞



「力が入る春」 大場 建夫  
【撮影場所】 秋田県由利本荘市鳥海町貝沢



「棚田灯る」 渡邊 次夫  
【撮影場所】 山形県大蔵村四ヶ村棚田



「おにぎりだいすき」 柴田 ミツ  
【撮影場所】 秋田県能代市羽立



「ハッピー!アグリ!」 武内 幸一  
【撮影場所】 山形県尾花沢市寺内



「だんだんと秋」 石川 京子  
【撮影場所】 高知県高知市土佐山



「お手伝い」 伊藤 栄一  
【撮影場所】 秋田県皆瀬村



## 棚田オーナー賞



「盛夏の収穫」 吉田 慶嗣  
【撮影場所】 秋田県大仙市清水下大蔵



「力を合わせて」 晴山 武  
【撮影場所】 秋田県秋田市豊岩



「棚田の秋」 田中 耕二  
【撮影場所】 徳島県名東村佐那河内



「田植えキッズ」 原田 司  
【撮影場所】 秋田県男鹿市安全寺



「炎の陽炎」 小形 勝也  
【撮影場所】 秋田県由利本荘市



「棚田のある入江」 近野 和彦  
【撮影場所】 福井県高浜町日引



「農婦」 九嶋 祐  
【撮影場所】 秋田県北秋田市綴子



「春を待つ」 佐藤 与志雄  
【撮影場所】 秋田県由利本荘市



## 棚田オーナー賞



「五百川峡谷の冬景色」 阿部 紀秋  
【撮影場所】山形県朝日町八天橋



「海へとつながる水田」 木村 東仁  
【撮影場所】秋田県にかほ市象潟



「ぶどう園のひと時」 五十嵐 敏紀  
【撮影場所】秋田県横手市増田町



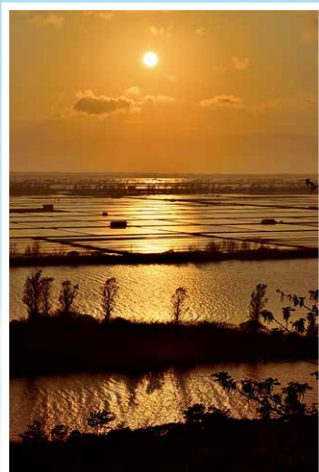
「田植えの風景」 木村 清  
【撮影場所】秋田県由利本荘市矢島町新荘



「佳日」 瀬川 正範  
【撮影場所】岩手県北上市



「夕映えの頃」 丹羽 明仁  
【撮影場所】鹿児島県指宿市



「黄昏色」 椿田 一男  
【撮影場所】秋田県八郎潟町



# ふるさとの田んぼと水 子ども絵画展2019



全国水土里ネット主催「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2019にて、県内各地から応募して頂いた作品、201点の中から今年度は3作品が見事受賞をしました！このコンクールは子どもの絵画を通じて、一般の方々にも水土里ネットの役割を伝えて行くために平成12年度から毎年開催されております。毎年地域水土里ネットの協力の下、多くの作品を募集頂いております。



## 入選



「じじのでっかいトラクター」

秋田県羽後町みわこども園  
6歳 古関 美瑚さん



「田んぼにうつる夕日」

秋田県横手市立横手北小学校  
5年 木村 咲美さん

## 水土里ネット秋田会長賞

「<sup>にゃ</sup>苗っこにおんがくを聞かせたよ！」

秋田県羽後町立三輪小学校  
2年 古関 陽花子さん



[発行所] 秋田県土地改良事業団連合会 〒010-0967 秋田市高陽幸町3番37号  
TEL.018-888-2750(代) FAX.018-888-2834  
http://www.akita-midori.net/

